

# JATピックス

JA広報誌の記事を中心に毎月のトピックスを紹介します。

2011年5月



JA十勝女性協

## 特老札内寮に トレットパック寄贈

J A十勝女性部協議会が環境問題取り組み事業として実施している「紙パック回収運動」の22年度益金を利用したトレットパック寄贈が管内各福祉施設で行われました。

幕別町の特別養護老人ホーム札内寮へは、札内女性部の松田澄子部長と写真右と幕別女性部の松田ひとみ部長がこのほど施設を訪れ、トレットパックパー2ケースを施設の入所者に寄贈しました。近年は牛乳紙パックの回収量が

十勝全域で落ち込み、寄贈数も減少傾向にありますが、J A十勝女性協では「寄贈の趣旨を理解のうえ、引き続き回収に協力を」と呼びかけています。札内農協でも本所東玄関に牛乳パックの回収ボックスを置いていきますので、ご協力をお願いします。



札内乳牛検定組合（五嶋透組合長）の第31回定期総会がこのほど開かれ、新年度の事業計画等について協議しました。昨年の検定成績は札内の検定農家18戸の平均乳量で9千61キロ、前年比97・3%とやや低い伸び率となりました（全道・十勝の伸び率は100・1%）。

## 札内乳牛検定組合総会



新年度については、検定事業の推進のほか経営改善指導、後代検定事業の推進、研修会の実施等に取り組む方針を決めました。J A札内さくらんぼの会（白木艶子会長）の23年度総会がこのほど開かれ、介護ボランティア活動計画について話し合いました。同会は特別養護老人ホーム札内寮のイベントやデイサービスの支援ボランティア、J A札内組合員家庭の80歳以上の高齢者を招いた「ふれあい会」の事業を実施。新年度はこれらに加え、会独自の研修会を企画し、会員の資質向上に努めていく方針が確認されました。

## さくらんぼの会総会